

# 葛城市 はじめるネット

2025年 (令和7年) 8月 通算第29号

Instagramも発信中！ぜひご覧ください！



○葛城市議会議員

吉村 始 はじめ

1968年1月1日 葛城市 (旧・新庄町) 生まれ  
 新庄北小、新庄中、畝傍高、立命館大卒  
 図書館開設事業に司書として従事し、  
 出版社で編集・営業を経験  
 のちに出版社を創業  
 2004年 葛城市誕生とともにUターン  
 市政モニターやまちづくりNPOに参加

葛城市議会議員として

2017年 初当選 (1期目)

議会だより編集委員会 委員長  
 厚生文教常任委員会 副委員長

2021年 再選 (2期目)

副議長  
 総務建設常任委員会 委員長  
 議会運営委員会 副委員長  
 当麻庁舎の危険性排除に伴う機能再  
 編に関する特別委員会 副委員長

## 教育のアンバランス是正の第一歩

葛城市には5つの小学校がありますが、教育環境には大きな違いがあります。1クラスあたりの児童数、1児童あたりの運動場の広さ、1学年1クラス規模の学校などがその一例です。私は、これらのアンバランスの是正が必要と訴えてきました。

その結果、2024年度から「自宅から隣の校区の小学校の方が近くて、通学上の安全面も問題なければ」、保護者の希望で通学が可能となりました。これまでに3件の変更が認められています。

しかし、新制度の案内は、市のホームページや就学時健康診断の通知などにとどまっていて、保護者への周知が不十分です。

私は、より多くの皆さんにこの選択肢を知っていただけるよう、6月議会の一般質問で「広報かつらぎ」や幼稚園、保育所、こども園を通じた周知を求めました。今後も制度の活用が進むよう、取り組んでまいります。



制度の詳細は葛城市の公式サイトで

昨年度から、新ルール実施中！



【児童数の変化】	新庄小	磐城小	新庄北小
2018年5月1日	811人	705人	278人
	↓	↓	↓
2025年5月1日	804人	727人	203人

私をはじめ問題提起したのは2019年3月。児童数を見ても、あまり変わってませんね。



# 6月議会 一般質問 (6月17日)



動画はこちら

今回は、お子さんのいるご家庭からよく聞く「安全な道路」と「教育環境のアンバランス」について市に提言しました。

イメージハンプ(東和苑)



## 歩行者の安全確保へ

歩行者の安全確保は、市民の皆さまからとくに多く寄せられる切実な要望です。私は、3つの課題について具体例を挙げ、市の対応を質しました。

### ①河川への転落を防ぐために

足田3号線(図A)の南側半分は通学路ですが、転落防止柵がありません。同様の危険箇所は葛城市内に多く残っており、国や県の補助事業を活用しての整備を急ぐよう求めました。

### ②車両のスピードを抑えるには

これまでに「イメージハンプ」を設置してもらい一定の効果がありましたが、より実効性の高い物理的な「ハンプ(段差)」についても、近隣市の事例を参考に調査してほしいと要望しました。

### ③「歩行者横断指導線」の導入を

第一健民運動場とテニスコート間(図B)は、公安委員会の判断で、横断歩道の設置が難しい場所です。市の判断で設置できる「歩行者横断指導線」の導入を提言しました。



図A



図B

## 耕作放棄地問題の取り組み

## 使われなくなった田畑の再生を

私が委員長を務める総務建設常任委員会では、耕作放棄地問題に取り組んでいます。7月9・10日には岡崎市と津市を訪れ、先進事例を視察しました。また、7月21日に開催した「市民懇談会」でも、委員会の取組状況を報告しました。



委員長として挨拶(岡崎市)



(中央公民館小ホール)

★本紙は、家族とともに手配りでお届けしています。ご希望の方には、郵送も行っています。

街頭(尺土駅南側、近鉄新庄駅、磐城駅、忍海駅)でも朝(6:30~7:45)の配布を行っています。



<https://www.hajimerunet.com>

バックナンバーはこちら

発行 吉村はじめと始める会

〒639-2101 奈良県葛城市足田379 電話&FAX 0745-69-7590

